

大学コンソーシアム京都 2016年度新規事業概要

事業名	京（みやこ）カレッジ「大学リレー講座」
事業実施の背景・目的等	<p>生涯学習事業（京カレッジ）は、大学コンソーシアム京都の加盟大学のヒアリングから得た意見でも「大学をアピールする非常に有益な事業」とされており、また、2015年度の京カレッジ出願者は、2014年度から約200名増加し、延べ数で約2,000名に近づきつつあるなど市民の関心は高まっている。</p> <p>そのような中、加盟校の生涯学習事業の連携をテーマに、生涯学習事業大学間連携推進ワーキンググループ（2015年6月11日）での意見交換、および京カレッジ企画検討会議（2015年10月28日）の議論を踏まえ、教育事業企画検討委員会（2015年11月4日）において、2016年度より「京カレッジ大学リレー公開講座」の実施と講座に対する補助内容が承認された。</p> <p>この承認を受けて、加盟大学に対し講座の募集を行った結果、この度、8大学より申請があったので、本事業を以下のとおり実施し、大学及び京都市による生涯学習事業の新たな展開を促進する。</p>
事業概要	<p>1. 講座の基本仕様</p> <p>(1) 講座テーマ 加盟大学・短期大学は、其々が行っている生涯学習講座事業をもとに、各大学の得意分野での任意のテーマでの講座を提供する。</p> <p>(2) 講座の運営・開講場所 各大学独自で通常行っている運営方法を基本にキャンパスプラザ京都にて行う。</p> <p>(3) 開講期間・時間帯 2016年5月から2017年2月の間、基本時間帯を各月の第3土曜日13:00から90分の講義としつつ、初年度ということもあり、可能な調整を行い企画する。</p> <p>(4) 参加申込・受講料 申込み、受講料は不要とする。</p> <p>2. 2016年度開講講座 裏面のとおり</p>

2016年度 京カレッジ「大学リレー講座」スケジュール

日程	講座開講 大学	テーマ	講座概要	担当教員
5月14日(土) 13:00~14:30 ※開催日注意	龍谷大学	“かおり”で会話する生き物たち	植物の出す“かおり”(匂い)が言葉となって、匂いを出した植物と他の様々な生き物とがコミュニケーションしていることを自身の研究結果をもとに紹介する。	塩尻 かおり (農学部 講師)
6月18日(土) 13:00~14:30	京都工芸 繊維大学	京の伝統的発酵食品とピンピンコロリ型健康長寿社会	超高齢化社会を迎え、医療費・介護費用の増大は深刻な問題である。これらの支出を抑え、活動的に長生きする「ピンピンコロリ型」の健康長寿社会を目指す上で、京都の伝統的発酵食品が担う役割と可能性を解説する。	井沢 真吾 (院工芸化学研究科 応用生物学系 准教授)
7月16日(土) 13:00~14:30	大谷大学	宗教と心理学の違いー特に仏教の視点を中心として	近年、宗教と心理学が協同して、現代の人々の様々な心の悩みに応えていこうとする動きが顕著になりつつあるが、果たして宗教と心理学とは等値とみなされ得るものなのだろうか。この問いに、特に仏教の視点から迫りたい。	新田 智通 (文学部 仏教学科 講師)
9月17日(土) 13:00~14:30	京都嵯峨 芸術大学	重要無形民俗文化財「嵯峨大念佛狂言」を楽しむ	嵯峨野の古刹清凉寺に伝わる「嵯峨大念佛狂言」は壬生狂言、千本ゑんま堂狂言とならび、京都の三大念佛狂言のひとつに数えられている。この講座ではその成り立ちや、面についての話をまじえながら鑑賞のポイントを解説する。	芳野 明 (芸術学部 教授)
10月15日(土) 13:00~14:30	京都精華 大学	「人文学の世界・人は何のために生きていくのか」	人文学とは、過去の文献をひもとき、自分が生きる社会へと目を向ける学問である。そして、自分が生きるこの社会の課題を見つけ、その解決方法を模索するための学問である。混迷する現代社会における生き方・行き方についてウスビ・サコとともに考えていきたい。	ウスビ・サコ (人文学部 教授)
11月5日(土) 13:30~17:00 ※開催日時注意	京都橘大 学	京の都から発信する。京の都の災いの払いかたーそのとき、あなたはどのようにしますか？-	国際観光都市京都では、自然災害のみならず人為的災害の危険も多く存在する。本講座では、災害対策の専門家を講師に迎え、過去の災害を実例として取り上げながら、救命活動で起こった問題や災害対策の基本的な考え方などを紹介する。また本講座を通して、市民として災害発生時に何をすればよいか、遭遇しないためにはどうしたら良いのかについても考えていきたい。	西本 泰久 (健康科学部 救急救命学科 教授) 他
12月17日(土) 13:00~14:30	池坊短期 大学	いけばなに見る日本美-他国にみない日本人の美意識-	形に残ることのない「いけばな」は、人から花、花から人へ、常に時代のトレンドをその形に映しながら現代に受け継がれてきた。「いけばなに見る日本美」と題し、デモンストレーションを交えたいけばなを通して、他国にみない日本人の美意識を再認識する。	土屋 郁剛 (文化芸術学科 教授)
2月18日(土) 13:00~14:30	京都産業 大学	‘重さ’を見る天文学	宇宙で最も重要な力「モノの‘重さ’=重力」が引き起こす豊かな現象と、直接測ることのできない天体の‘重さ’を、如何にして見ることから導き出すのかについて、現代天文学の多様な知見とともに解説する。	米原 厚憲 (理学部 教授)